

けだもの組合 (1930)

ANIMAL CRACKERS

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 97分
初公開日 1931/02
公開情報 劇場公開

【解説】

マルクス兄弟の2作目は、原題をうまく意識した邦題がごく端的に示す通り野卑なパワーに充ち満ちた怪作。大富豪未亡人（常連のM・デュモント）のパーティに招かれたスポルディング大尉は探検家。アフリカ人の担ぐ駕籠で颯爽と現われ、難クセつけて料金を払わないという出だしからグルーチョは奇天烈。未亡人への口説き文句は“私の靴下を洗って”であります。その秘書ゼッポは存在しないのと同じ。問題は、コートを脱ぐとすぐ下着というハーポ“教授”のSEXアニマルぶり。おもむろに拳銃を抜いて撃ちまくり、続いてライフルをぶっ放すと彫刻が撃ち返す。チコはイタリア系のラベリという定番の役柄。その屋敷には有名コレクターの名画が展示され、これの贋作を描いた才能ある無名画家の恋人の実力を示そうと、未亡人の娘が絵のすり替えを企てた所、同じことを、未亡人を敵視するさる夫人が企んだから大混乱。しかし、興味は多少は入り組んだストーリーの展開などよりも、ひたすら凶暴な初期ハーポの至芸に当然集中。

【クレジット】

監督	ヴィクター・ヒアマン	Victor Heerman
原作	ジョージ・S・カウフマン	George S. Kaufman
	モリー・リスキンド	Morrie Ryskind
	バート・カルマー	Bert Kalmar
脚本	ピエール・コリングス	Pierre Collings
脚色	モリー・リスキンド	Morrie Ryskind
撮影	ピエール・コリングス	Pierre Collings
出演	グルーチョ・マルクス	Groucho Marx
	チコ・マルクス	Chico Marx
	ハーポ・マルクス	Harpo Marx
	ゼッポ・マルクス	Zeppo Marx
	マーガレット・デュモント	Margaret Dumont
	リリアン・ロス	Lilian Roth
	ルイス・ソーリン	
	ハル・トンプソン	
	ロバート・グレイグ	Robert Greig